

4. 海洋ビッグデータの取得、AI分析研究の推進

(8) ビッグデータ取得・AI分析手法を用いた論文の抽出及び分類

課題の概要

実施体制

産学・地域連携推進機構、研究推進課

海洋研究分野における、ビッグデータ・AI分析手法を用いた研究手法の普及は十分に行われていないと認識している。そのため、Scopusにされている全ての論文データの中から、本学研究者の研究分野及び周辺分野においてビッグデータ・AI分析手法を用いて執筆されたハイインパクトな論文を抽出しデータベース化することで、各研究者への理解及び活用促進を図る。

手法は以下の通り

1. 東京海洋大学に所属し、2016年以降に発行された出版物を収集。これらの文書タイプは、論文、総説、会議論文(A)に限定。
2. 2016年以降に発行されたすべてのScopus出版物を収集し、それらのドキュメントタイプは、論文(B)に限定。
3. (A)と(B)のキーワードの類似性を計算し、データユニバース(C)を作成。
4. データユニバースの中から引用数順に人工知能関連論文(2000本)を選択。

結果と今後の展望

以下の要素を含む論文リスト(2000本)を作成した。

また、迅速に論文へアクセスできるよう、各ジャーナルのURLを掲載したうえで、本学教職員に利用を案内した。

EID ※1	DOI ※2	著者	タイトル	ソースタイトル※3	巻・号	ページ	所属	発行年	ASJC※427 サブジェク トエリアと コード
ASJC334サ ブジェクトエ リアとコード	引用数	FWCI※5	FWCIパー センタイル	国際出版 物フラグ	東京海洋 大学フラグ	ドキュメント タイプ	インデック スキーワー ド	著者のキー ワード	抄録

※1 Scopus レコードを特定するために使用される固有の識別子)

※2 Digital Object Identifierの頭文字で、コンテンツの電子データに付与される国際的な識別子／存在する場合のみ抽出)

※3 ジャーナル名

※4 All Science Journal Classification Codes

※5 Field Weighted Citation Impactの略語で、論文の被引用数を、その論文と同じ出版年・分野・文献種の論文の世界平均(基準値)化した指標で、平均値は1.0。)